

平成 29 事業年度
後期高齢者医療特別会計

財 産 目 録
貸 借 対 照 表
損 益 計 算 書
キャッシュ・フロー計算書

社会保険診療報酬支払基金

平成29事業年度後期高齢者医療特別会計

事業費勘定

財 産 目 録

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

キャッシュ・フロー計算書

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事業費勘定財産目録

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
流 動 資 産		千円	千円
現金及び預金			1,079,599,969
			623,306,550
普通預金		67,978,874	
定期預金		555,327,676	
未収後期高齢者支援金			456,261,676
	協会けんぽ	152,975,793	
	健保組合	144,659,059	
	船員保険	557,318	
	共済組合	15,960,977	
	国民健保	142,108,529	
未収後期高齢者関係 事務費拠出金			27,381
	協会けんぽ	10,871	
	健保組合	7,170	
	船員保険	34	
	共済組合	797	
	国民健保	8,509	
未 収 収 益			4,360
	未 収 収 益	4,360	
資 産 合 計			1,079,599,969

負 債 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
流 動 負 債		千円	千円
未払後期高齢者交付金	広 域 連 合	487,807,482	487,824,271
その他の未払金	その他の未払金	16,789	
	負 債 合 計		487,824,271
	差 引 正 味 財 産		591,775,698

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計 事業費勘定貸借対照表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
区 分	注記 番号	金 額	区 分	注記 番号	金 額
(資産の部)		千円	(負債の部)		千円
流動資産			流動負債		
1	現金及び預金	623,306,550	1	未払後期高齢者 交 付 金	487,807,482
2	未収後期高齢者 支 援 金	456,261,676	2	その他の未払金	16,789
3	未収後期高齢者関係 事務費拠出金	27,381	流動負債合計		487,824,271
4	未 収 収 益	4,360	負債合計		487,824,271
流動資産合計		1,079,599,969	(資本の部)		
			利益剰余金		
			1	別途積立金	297,413,471
			2	当期末処分利益	294,362,226
			利益剰余金合計		591,775,698
			資本合計		591,775,698
資産合計		1,079,599,969	負債・資本合計		1,079,599,969

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事業費勘定損益計算書

(自 平成 29 年 4 月 1 日)
(至 平成 30 年 3 月 31 日)

区 分	注記 番号	金 額	
		千円	千円
〔経常損益の部〕			
(業 務 損 益 の 部)			
I 業 務 収 益			
1 後期高齢者支援金収入		6,083,837,654	
2 後期高齢者関係 事務費拠出金収入		376,445	
3 後期高齢者交付金 精算返還金		65,521,430	6,149,735,530
II 業 務 費 用			
1 後期高齢者交付金		6,202,890,353	
2 事務費勘定へ繰入		376,445	
3 後期高齢者支援金精算返還金		5,045	6,203,271,843
業 務 損 失			53,536,313
(業 務 外 損 益 の 部)			
業 務 外 収 益			
受 取 利 息		12,077	12,077
経 常 損 失			53,524,235
当 期 純 損 失			53,524,235
別 途 積 立 金 取 崩 額	※1		347,886,462
当 期 未 処 分 利 益			294,362,226

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事業費勘定キャッシュ・フロー計算書

(自 平成 29 年 4 月 1 日)
(至 平成 30 年 3 月 31 日)

区 分	注記 番号	金 額
		千円
I 業務活動によるキャッシュ・フロー		
後期高齢者支援金収入		6,076,969,102
後期高齢者関係事務費拠出金収入		375,305
後期高齢者交付金精算返還金収入		65,521,430
後期高齢者交付金支出		△ 6,169,514,698
事務費勘定へ繰入支出		△ 376,445
後期高齢者支援金精算返還金支出		△ 5,045
その他の収入		16,789
小 計		△ 27,013,561
利息の受取額		11,163
業務活動によるキャッシュ・フロー		△ 27,002,397
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出		△ 628,748,579
定期預金の払戻による収入		266,647,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 362,101,316
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー		—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—
V 現金及び現金同等物の増減額		△ 389,103,714
VI 現金及び現金同等物の期首残高		650,308,948
VII 現金及び現金同等物の期末残高	※ 1	261,205,234

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事業費勘定利益処分計算書

(平成 30 年 6 月 25 日)

区 分	金 額
I 当期未処分利益	294,362,226,702
II 利益処分額	
任意積立金	
別途積立金	294,362,226,702
III 次期繰越利益	0

重要な会計方針

期 別 項 目	当会計期間 (自 平成 29 年 4 月 1 日) (至 平成 30 年 3 月 31 日)
キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない短期的な投資からなっております。

注記事項

(損益計算書関係)

当会計期間 (自 平成29年4月1日) (至 平成30年3月31日)
※1 別途積立金取崩額とは高齢者の医療の確保に関する法律第146条第3項の規定により予算をもって定める金額を取崩した額である。

(キャッシュ・フロー計算書関係)

当会計期間末 (平成30年3月31日現在)	
※1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係	
現金及び預金	623,306,550 千円
預金期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 362,101,316
現金及び現金同等物	261,205,234

(重要な後発事象)

「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律(平成27年法律第31号)」の規定により改正された「健康保険法等の一部を改正する法律(平成18年法律第83号)」附則第38条第4項の規定により、平成30年4月1日に老人保健特別会計が廃止となり、老人保健特別会計に所属する権利及び義務は後期高齢者医療特別会計に承継されました。

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計

事務費勘定

財 産 目 録

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

キャッシュ・フロー計算書

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事務費勘定財産目録

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
流 動 資 産		千円	千円
現金及び預金			322,017
			306,188
	普通預金	108,927	
	定期預金	197,261	
前払年金費用			13,216
未収入金			2,612
	消費税等還付金	2,612	
固 定 資 産			2,588
有形固定資産			2,588
工具器具備品		12,066	
減価償却累計額		△ 9,478	
	資 産 合 計		324,605

負債の部			
区分	内 訳		金額
	摘 要	金額	
流動負債		千円	千円
未払金		37,863	59,912
未払費用		2,600	
預り金		1,390	
賞与引当金		18,058	
固定負債			123,460
退職給付引当金		123,460	
負債合計			183,372
差引正味財産			141,232

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事務費勘定貸借対照表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
区 分	注記 番号	金 額	区 分	注記 番号	金 額
千円			千円		
(資産の部)			(負債の部)		
I 流動資産			I 流動負債		
1		現金及び預金 306,188	1		未払金 37,863
2		前払年金費用 13,216	2		未払費用 2,600
3		未収入金 2,612	3		預り金 1,390
		流動資産合計 322,017	4		賞与引当金 18,058
					流動負債合計 59,912
II 固定資産			II 固定負債		
有形固定資産			退職給付引当金		
		工具器具備品 12,066			123,460
		減価償却累計額 △ 9,478			固定負債合計 123,460
		有形固定資産合計 2,588			負債合計 183,372
		固定資産合計 2,588	(資本の部)		
			利益剰余金		
			1		別途積立金 172,315
			2		当期未処理損失 31,082
					利益剰余金合計 141,232
					資本合計 141,232
資産合計		324,605	負債・資本合計		324,605

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事務費勘定損益計算書

(自 平成 29 年 4 月 1 日)
(至 平成 30 年 3 月 31 日)

区 分	注記 番号	金 額	
		千円	千円
〔経常損益の部〕			
(業 務 損 益 の 部)			
I 業 務 収 益			
事業費勘定からの受入		376,445	376,445
II 業 務 費 用			
1 役 員 報 酬		10,974	
2 給 与 手 当		144,206	
3 賞 与		36,628	
4 賞与引当金繰入額		18,058	
5 退職給付費用		27,369	
6 法定福利費		29,805	
7 委 託 費		82,353	
8 減 価 償 却 費		1,942	
9 その他の業務費用		56,420	407,758
業 務 損 失			31,313
(業 務 外 損 益 の 部)			
業 務 外 収 益			
1 受 取 利 息		3	
2 雑 収 入		228	231
経 常 損 失			31,082
当 期 純 損 失			31,082
当 期 未 処 理 損 失			31,082

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事務費勘定キャッシュ・フロー計算書

(自 平成 29 年 4 月 1 日)
(至 平成 30 年 3 月 31 日)

区 分	注記 番号	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー		千円
事業費勘定からの受入収入		376,445
その他の収入		228
人件費の支出		△ 251,488
その他の業務支出		△ 127,064
小 計		△ 1,879
利息の受取額		3
業務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,875
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資活動によるキャッシュ・フロー		—
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー		—
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—
V 現金及び現金同等物の増減額		△ 1,875
VI 現金及び現金同等物の期首残高		308,064
VII 現金及び現金同等物の期末残高	※1	306,188

平成 29 事業年度後期高齢者医療特別会計
事務費勘定損失処理計算書

(平成 30 年 6 月 25 日)

区 分	金 額
I 当 期 未 处 理 損 失	31,082,256
II 損 失 处 理 額	
任 意 積 立 金 取 崩 額	
別 途 積 立 金 取 崩 額	31,082,256
III 次 期 繰 越 損 失	0

重要な会計方針

期 別	当会計期間
項 目	(自 平成 29 年 4 月 1 日) (至 平成 30 年 3 月 31 日)
1. 固定資産の減価償却の方法 有形固定資産	<p>定額法によっております。</p> <p>なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。</p> <p>工具器具備品 5～20 年</p>
2. 引当金の計上基準	
(1) 賞与引当金	<p>役職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。</p>
(2) 退職給付引当金	<p>職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>ア 退職給付見込額の期間帰属方法</p> <p>退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>イ 過去勤務費用及び数理計算上の差異の費用処理方法</p> <p>過去勤務費用については、職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（12 年）による定額法により按分した額を、発生時から費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異については、職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（12 年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌期から費用処理しております。</p> <p>なお、役員については、役員退職手当規程等に基づく期末要支給額を退職給付引当金に含めて計上しております。</p>
3. キャッシュ・フロー計算書 における資金の範囲	<p>手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない短期的な投資からなっております。</p>
4. その他財務諸表作成のための 重要な事項	
消費税等の会計処理	<p>消費税等の会計処理は税抜方式によっております。</p>

注記事項

(キャッシュ・フロー計算書関係)

当会計期間末 (平成 30 年 3 月 31 日現在)	
※1 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係	
現金及び預金	306,188 千円
現金及び現金同等物	306,188

(重要な後発事象)

「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律(平成 27 年法律第 31 号)」の規定により改正された「健康保険法等の一部を改正する法律(平成 18 年法律第 83 号)」附則第 38 条第 4 項の規定により、平成 30 年 4 月 1 日に老人保健特別会計が廃止となり、老人保健特別会計に所属する権利及び義務は後期高齢者医療特別会計に承継されました。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当支払基金は、役職員等の退職給付に充てるため、積立型、非積立型の確定給付型制度を採用しております。

企業年金基金制度（積立型制度であります。）では、給与と加入期間に基づいた年金又は一時金を支給します。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給します。

当支払基金が加入している厚生年金基金の代行部分について、平成26年12月1日に厚生労働大臣から将来分支給義務免除の認可を受け、平成28年4月1日付けで過去分返上の認可を受けております。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	△ 302,504	千円
勤務費用	△ 17,301	
利息費用	△ 1,503	
数理計算上の差異の当期発生額	△ 5,651	
退職給付の支払額	13,225	
期末における退職給付債務	△ 313,735	

(注) 厚生年金基金代行部分の最低責任準備金相当額を含めて記載しております。

3. 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

期首における年金資産	126,629	千円
期待運用収益	1,907	
事業主からの拠出額	5,680	
数理計算上の差異の当期発生額	5,209	
退職給付の支払額	△ 5,271	
期末における年金資産	134,154	

(注) 厚生年金基金代行部分の最低責任準備金相当額の前納額を含めて記載しております。

4. 退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付に係る負債及び資産の調整表

イ. 積立型制度の退職給付債務	△ 160,455	千円
ロ. 年金資産	134,154	
ハ. 非積立型制度の退職給付債務	△ 153,280	
ニ. 未積立退職給付債務 (イ+ロ+ハ)	△ 179,580	
ホ. 未認識過去勤務費用	△ 19,953	
ヘ. 未認識数理計算上の差異	89,290	
ト. 貸借対照表計上純額 (ニ+ホ+ヘ)	△ 110,243	
チ. 前払年金費用	13,216	
リ. 退職給付引当金 (ト-チ)	△ 123,460	

(注) 厚生年金基金代行部分の最低責任準備金相当額を含めて記載しております。

(注) 厚生年金基金代行部分の最低責任準備金相当額の前納額を含めて記載しております。

5. 退職給付に関連する損益

勤務費用	16,038	千円
利息費用	1,503	
期待運用収益	△ 1,907	
過去勤務費用の当期の費用処理額	△ 1,995	
数理計算上の差異の当期の費用処理額	13,731	
退職給付費用	27,369	

(注) 企業年金基金に対する役職員拠出額を控除しております。

6. 年金資産の主な内訳

最低責任準備金相当額の前納額	45.5%
債券	31.1%
株式	15.2%
その他	8.2%
合計	100.0%

7. 長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

8. 数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率 0.5%

長期期待運用収益率 2.8%

後期高齢者医療特別会計財務諸表等に関する監事意見書

平成29事業年度社会保険診療報酬支払基金後期高齢者医療特別会計に係る財務諸表（財産目録、貸借対照表及び損益計算書）及び決算報告書の監査を実施した結果、適正であると認める。

平成30年6月8日

社会保険診療報酬支払基金
理事長 伊藤文郎 殿

監 事 木 内 充

監 事 内 田 好 宣

監 事 田 中 伸 一

監 事 小 松 満